

# 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	県立東備支援学校	実践者名	入江真吾
実践場面 (教科)	家庭内		
単元・題材名	時間割を確認しよう		
学習目標・ねらい	自分で明日の時間割を確認し、その日の流れや必要なもの等を確認する習慣を身につける。		
対象の児童生徒の 実態	対象生徒の実態から考えると、生徒一人でのタブレットの活用は大きな課題がある。 家庭での活用時には保護者の協力が欠かせないが、協力が求めづらい家庭も多い。		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

○時間割アプリ「Class Timetable」を使用する。

- ・登校の準備を保護者が行っているという生徒に対し、家庭内で最小限の補助を得て、翌日の時間割を確認できるようにすることを目標として行った。
- ・平日のスケジュールを横にスクロールしながら確認する。
- ・メモ機能が使用でき、各授業での持ち物や授業変更などを記入して提示することができる。
- ・時間割アプリはその他にも様々なアプリが存在するが、大概は一般的な時間割型の表示であり、その日やることを確認するには不向きなものが多い。
- ・各教科名をクリックすると、その教科で必要なものや連絡事項のメモが見られるようになっている。操作が感覚的に行える点において多くの生徒が使用するには適していると考えられる。



**時間割・Class Timetable**  
高校や大学のスケジュール管理アプリ  
Class Timetable LLC  
★★★★★ 4.7・101件の評価  
無料・App内課金があります



活用のポイント・改善策等

家庭学習を始めるにあたって、毎日タブレット端末に触れる・開く習慣をつけるということが第一だと考える。機器への慣れを基本として、「様々なアプリを使う→課題を提出する」など段階的に進めていく必要がある。家庭での使用を積極的に進めていけたらよいが、児童生徒の実態を考えると実際に自分で使用するまでのハードルは高く、それまでに学校で十分な指導期間が必要である。